

J. TEST

J. TEST とは?

- J. TEST 実用日本語検定は外国人の日本語能力を測定する試験として、1991 年から実施されています。
- J. TEST は国内外 50 以上の都市で実施されており、年 6 回の**公開試験**のほか、企業や学校単位での**随時試験**も実施しています。
- 国内外で 400 以上の企業、団体、大学、日本語学校が利用しています。
- 最上級者向けにビジネスに特化した「ビジネス実用日本語検定（ビジネス J. TEST）」もあります。

J. TEST の特徴

- 試験は 3 種類**
中～上級者向けの「A-D レベル試験」、初級者向けの「E-F レベル試験」、最上級者向けの「ビジネス J. TEST」があります。
※「ビジネス J. TEST」の随時試験は 2012 年から実施予定。
- 難易度は毎回一定・受験のチャンスが多い**
毎回難易度が一定で、年 6 回実施（A-D レベル）されているので、何度も受けることによって日本語力の進歩がわかります。
- 「実用的」かつ「実践的」な日本語力を測定**
聴解試験の比重が高く、「生きた表現」が数多く出題されます。J. TEST は実践的な能力を測定します。
- 能力試験 N1（旧 1 級）以上の日本語力まで測定できる**
A-D レベル試験は、N1 以上のより高度なコミュニケーション能力を測定します。
- 認定証の発行（公開試験受験者のみ）**
一定の点数以上の方には認定証が発行されます。また受験者全員に成績表と参考資料が郵送されます。

【認定証】



【成績表】



◇A-D レベル試験◇

- * 1000 点満点で点数によって能力を A～D 級に判定します。
- * 各分野が基準点（※）に達し、500 点以上の方には認定証が発行されます。

[出題内容]

- | | |
|-------------|---------------|
| ● 読解試験 80 分 | ● 聴解試験 約 45 分 |
| I 文法語彙問題 | I 写真問題 |
| II 読解問題 | II 聴読解問題 |
| III 漢字問題 | III 応答問題 |
| IV 記述問題 | IV 会話・説明問題 |

[点数と評価]

- 1000 点満点（読解 500 点、聴解 500 点）

※ 基準点：各分野の配点の 20% の得点

特 A 級	930 点以上	様々な分野、場面において高度なコミュニケーション能力がある。 (高度な日本語の通訳ができる。)
A 級	900 点	様々な分野、場面において十分なコミュニケーション能力がある。 (一般的な日本語の通訳ができる。)
準 A 級	850 点	やや限定された分野、場面において十分なコミュニケーション能力がある。 (基本的な日本語の通訳ができる。)
B 級	800 点	一般的な分野、場面において十分なコミュニケーション能力がある。 (日本で長期間仕事ができる。)
準 B 級	700 点	日常生活や学校、会社において基本的なコミュニケーションが十分にできる。 (日本へ出張して仕事ができる。)
C 級	600 点	不自由なところもあるが、基本的なコミュニケーションができる。 (日本に出張して簡単な仕事ができる。)
D 級	500 点	最低限のコミュニケーションができる。 (簡単な日本語がわかる。)

(500 点未満は認定なし) ・日本語能力試験 N1 (旧 1 級) = 650 点前後
・日本語能力試験との比較は目安です。

◇E-F レベル試験◇

- * 500 点満点で点数によって能力を E～F 級に判定します。
- * 各分野が基準点（※）に達し、250 点以上の方には認定証が発行されます。

[出題内容]

- | | |
|-------------|---------------|
| ● 読解試験 70 分 | ● 聴解試験 約 30 分 |
| I 文法語彙問題 | I 写真問題 |
| II 読解問題 | II 聴読解問題 |
| III 漢字問題 | III 応答問題 |
| IV 記述問題 | IV 会話・説明問題 |

[点数と評価]

- 500 点満点（読解 300 点、聴解 200 点）

※ 基準点：各分野の配点の 20% の得点

E 級	350 点以上	初級修了 / 日本旅行可能レベル
F 級	250 点	初級前期修了レベル

(250 点未満は認定なし) ・日本語能力試験 N4 (旧 3 級) = 300 点前後
・日本語能力試験との比較は目安です。

Q & A

- Q** 成績はいつ、どのように送られてきますか？
A 試験日から約 5 週間後に郵送いたします。
- Q** 国籍が日本ですが、受けることができますか？
A 国籍が日本でも、母語が日本語でなければ大丈夫です。
- Q** 海外で受験したいのですが。
A 中国（大陸）、台湾、タイ、モンゴルで実施しています。会場はホームページでご確認ください。
※ 2011 年 9 月より韓国、インドで実施予定。
※ 中国では中国政府認定試験。
- Q** 「ビジネス J. TEST」について知りたいのですが。
A 「ビジネス J. TEST」につきましては、専用のパンフレットやホームページでご確認ください。

J. TEST 実施要項

■ 受験資格

日本語が母語ではない方

■ 実施

A-D レベル試験 1・3・5・7・9・11月

E-F レベル試験 1・7月

■ 受験料

A-D レベル試験、E-F レベル試験 各 3,600 円

■ 公開試験会場

国内外 50 都市以上 (別紙をご覧ください)

■ 試験時間

【A-D レベル試験】

読解試験 80 分

聴解試験 約 45 分

【E-F レベル試験】

読解試験 70 分

聴解試験 約 35 分

■ 申込方法

「個人申込用紙」を郵送してください。申込用紙はホームページからダウンロードするか、電話またはメールで請求することができます。

電話 03-3633-2212 メール info@j-test.jp

URL <http://j-test.jp/xp/>

「随時試験」は別途申し込み用紙が必要です。

2ヶ月に1度の公開試験の他に、企業・学校などでいつでも実施できる「団体随時試験」がございます。採用・人事評価にご利用ください。

(成績は5営業日後。随時試験では成績表のみ発行いたします。)

J. TEST 過去問題集

過去に実施された6回分の試験問題と正解が収録されています。

お求めは「日本語ボックス」まで。 <http://nihongo-books.jp>

*パンフレットは日本語・英語・中国語・韓国語版があります。

◆◆◆利用団体の声◆◆◆

- ・外国人社員の採用基準として利用しています。
(IT 関連企業)
- ・日本人社員に TOEIC を受けさせていましたが、平等に外国人社員が受ける試験を探していました。
(外資系企業)
- ・現地従業員の査定として利用しています。
(総合商社)
- ・大学院の募集要項に記載しています。
(私立大学)
- ・研修生の日本語力向上のために利用しています。
(研修生受け入れ団体)
- ・人材登録の際に活用しています。
(派遣企業)

❀❀受験生からの声❀❀

- ・J. TEST の認定証を会社に提出する予定です。
(40代 会社員)
- ・上級レベルの日本語力が測れるので受験しました。
(20代 大学院生)
- ・記述問題の項目は J. TEST の特徴だと思います。
(20代 会社員)
- ・日本人の会話から教科書にはない文法を勉強しました。
(20代 大学生)

*TOEIC は ETS の商標です。

*TOEIC と J. TEST は関係ありません。

試験のお申込み・最新情報は

<http://j-test.jp/xp/>

外国人のための日本語力テスト

TEST OF PRACTICAL JAPANESE

J. TEST 実用日本語検定

外国人の日本語能力評価に

年 6 回実施

公開試験

随時実施可能

随時試験

<http://j-test.jp/xp/>

400 以上の企業・学校・団体が利用

主催

日本語検定協会 / J. TEST 事務局

〒130-0021

東京都墨田区緑 1-24-6

TEL: 03-3633-2212 FAX: 03-3633-4412